

1 砂漠化とは

砂漠化は、砂漠化対処条約で『乾燥地域、半乾燥地域、乾燥半湿潤地域における気候上の変動や人間活動を含むさまざまな要素に起因する土地の劣化』と定義されています。

砂漠化の影響を受けやすい乾燥地域は、地表面積の約41%を占めており、そこで暮らす人々は20億人以上に及び、その少なくとも90%は開発途上国の人々です。砂漠化は、食糧の供給不安、水不足、貧困の原因にもなっています。



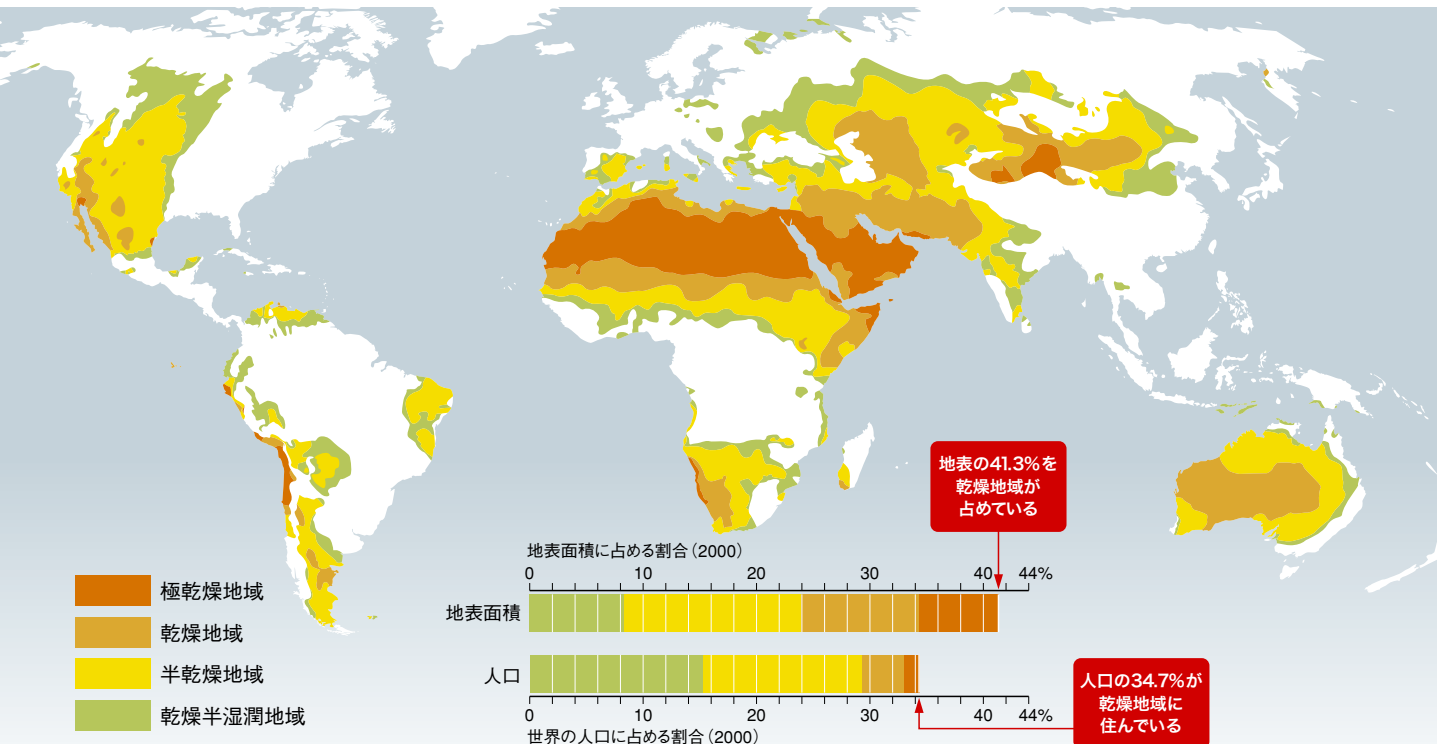
アフリカ：ブルキナファソ
写真提供／地球・人間環境フォーラム

▼乾燥地域の分類

乾燥区分	乾燥度指数	特徴
極乾燥地域	$AI < 0.05$	雨期はなく、人間活動に極めて制限的な地域（砂漠）
乾燥地域	$0.05 \leq AI < 0.20$	年降水量200mm未満（冬雨期）、300mm未満（夏雨期）、50～100%の間で年変動する地域
半乾燥地域	$0.20 \leq AI < 0.50$	雨期があり、年降水量500mm未満（冬雨季）、800mm未満（夏雨季）、25～50%の間で年変動する地域
乾燥半湿潤地域	$0.50 \leq AI < 0.65$	降水が25%未満で年変動する地域、非かんがい農業が広く行われている地域

乾燥地域とは、乾燥の程度を表す乾燥度指数(AI) ($AI = P(\text{年間降水量}) / PET(\text{年蒸発散量})$)の低い地域のことです。作物、飼料の生育などが水分の制限を受けています。

▼砂漠化の影響を受けやすい乾燥地域の分布



乾燥地域の10～20%は既に劣化しており、乾燥地域に住む1～6%の人々(約2,000万人～1億2千万人超)が砂漠化された地域に住んでいると推定されています。

資料／Millennium Ecosystem Assessment(2005)

● COLUMN ミレニアム・エコシステム・アセスメント (Millennium Ecosystem Assessment)

ミレニアム・エコシステム・アセスメント(MA)は、2000年の国連総会においてコフィー・アナン元事務総長により実施を要請され、作成された調査です。生物多様性条約、砂漠化対処条約、ラ

ムサール条約、移住種条約の4つの条約事務局を通じ、多様な機関等から情報の提供を受けて実施されました。砂漠化統合版(Desertification Synthesis)は2003-2005年に編纂されました。